

シグマ研究委員会 F.P 核データワーキンググループ会合議事録

日 時：昭和51年5月7日(金) 1:30-5:00 pm

場 所：原研本部第31会議室

出席者：中嶋(法政大)，松本，五十嵐，菊池(原研)，松延(住友原子力)，
青木(中村代理；富士)，大竹(PNC)，川合，村田，吉田，飯島
(NAIG)

議 事：

1. IAEAのFPND Progress Report 第2号への contribution として提出した内容について飯島氏から説明があった。
富士 中村氏の代りに青木氏が当W.G.に参加するとので、W.Gとしては諒承したが、事務局として五十嵐氏が、当分の間、中村氏の代理出席の形にして欲しい旨発言があり、諒承された。
2. 現在進めている average level spacing Dobs の評価の方法について吉田氏から説明があり、質疑が行なわれた。
3. 前回につづき、CASTHYコードの数学的、物理的内容につき五十嵐氏から説明があった。今回でCASTHYの説明は終了した。
4. 今後のFP断面積評価の進め方について検討を行ない、およそ次のように定まった。
 - (i) FP核種はんいの最終的確認を次回に行なう。その用意を松延、飯島が準備する。
 - (ii) 次回から断面積計算を開始する。およその予定として、 $\sigma(n, \gamma)$ データ、共鳴レベルデータのある核について今年12月迄に終了し、来年1月から、これらのデータの皆無な核の計算を行なう。3月には全て評価を終了する。
 - (iii) このため計算コード(CASTHY, RING)の入力の簡単化を次回までに済ませる。
 - (iv) 各、分担毎に随時レポート作成を行なう。
 - (v) Direct process を計算に含めるかどうかは今後別箇に検討する。

5. その他

$\sigma(n, r)$ データの収集と、吟味およびその図表出版は核データ室からの委託で行なり予定となった。

次回予定：6月10日，11日，東海